

サンメッセ 環境インパクト

サプライチェーン 全体で環境に配慮し、 環境負荷を低減



サンメッセの環境に対する考え方

パリ協定を境に、気候変動リスクが顕著となり、グローバルで環境問題に取り組まなければならない今、当社はハリヨが棲む「水の都」の地を基盤に事業を展開する企業として、環境に貢献できることはなにか？を常に問いながら事業活動を続けていきます。

社内一貫生産体制で事業活動を行っていく上で、バリューチェーン全体の環境負荷を考慮し、その低減に努めます。

サンメッセ環境宣言

サンメッセ株式会社は創業の地大垣の「ハリヨが泳ぎ、ホタルが舞う水都」の美しい環境を次の世代に引き継ぐことが、かけがえのない地球(オンリーワンアース)を守ることにつながるとの認識に立って、当社に関わる全ての人々(利害関係者)と共に、印刷を核としたあらゆる事業活動を通じて、環境保全に努めます。

環境活動取組体制

| | | | |
|-------------|----------------|-------------|--------------|
| 代表取締役 社長 | マネジメント レビュー | 環境管理 責任者 | 事務局 品質保証室 |
|-------------|----------------|-------------|--------------|

サンメッセが提供する環境ソリューション

CO₂ 71.8%

生産フロー



STEP 01 原材料調達

提供する環境ソリューション



FSC®森林認証紙

当社はCoC認証を取得し、印刷物にFSC®認証紙を使うことが許されています。



ベジタブルインキ

印刷インキ中に再生可能な大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油など植物由来の油を、一定量以上含むインキをいいます。

FSC®森林認証紙の利用推進

大量に紙を消費する印刷会社の責任として、適切に管理された森林から作られた紙に印刷した製品であることを証明するCoC認証を取得。2007年よりFSC®森林認証紙を取り扱い、その利用を積極的に進めています。2022年度は1,650件の取り扱いがありました。目標に対しては大幅な達成となりました。

2022年度の成果

1,650件

昨年比
136%





基本行動指針

- 1.循環型社会を目指し、省エネ、省資源、リサイクル活動を積極的に推進します。
- 2.有害な危険性のある物質には代替物質を探索し、事業活動において、確実かつ継続的に有害物質の削減に努め、可能となり次第その使用を中止します。
- 3.法と社会秩序を守り、業界の指針、お客様及び協力会社の環境保全にも積極的に協力し、進んで汚染の防止(予防)に努めます。
- 4.自らの業務を通して、内外に影響力を行使できる環境保全活動に対して積極的に活動を行います。
- 5.全ての拠点が、環境マネジメントシステムに適合します。
- 6.全従業員に環境保全の大切さを認識させ、積極的に環境保全を推進する社員を育てます。
- 7.地域社会との共生を大切にし、地域の皆さんに愛される開かれた企業を目指します。

シジョンと生産フロー



■ お客様のGHG排出量削減への貢献

■ 水なし印刷

湿し水を使わず、水資源を節約できるほか、有害な廃液を出さない印刷。

■ オンデマンドデジタル印刷

刷版を使用せず、必要な時に必要な分だけ印刷可能で、用紙のムダも少ない印刷。

■ UVニス

従来からの表面加工方法であるフィルム貼り(PP貼り)よりも環境負荷の低いUVニスを使用した表面加工を行っています。

■ のり綴じ製本

パンフレットやカタログなどを針金の代わりにのりで製本するものです。

■ 簡易包装

当社では環境負荷軽減の面からできるだけ簡易包装に努めています。

■ 工場間輸送を削減

工場間をまたいで生産していた製品を一つの工場内で完結させることで、工場間の輸送作業を削減し、効率のよい生産フローを確立いたしました。

■ 難細裂化のり

古紙再生時に、ミキサーの中で細かくならない製本ののりで、フィルターで除去しやすく、再生パルプへののりの混入を少なくできます。

刷版リサイクルの推進による環境負荷低減

当社では2015年より、PLATE to PLATEの取り組みを行っています。PLATE to PLATEは、使用した刷版(アルミ製の版)をリサイクルして再度新品の刷版へと再生させるクローズドループリサイクルの仕組みです。これによりCO₂、廃棄量ともに削減することができました。

2022年度の成果

印刷用刷版のリサイクルによる温室効果ガス削減

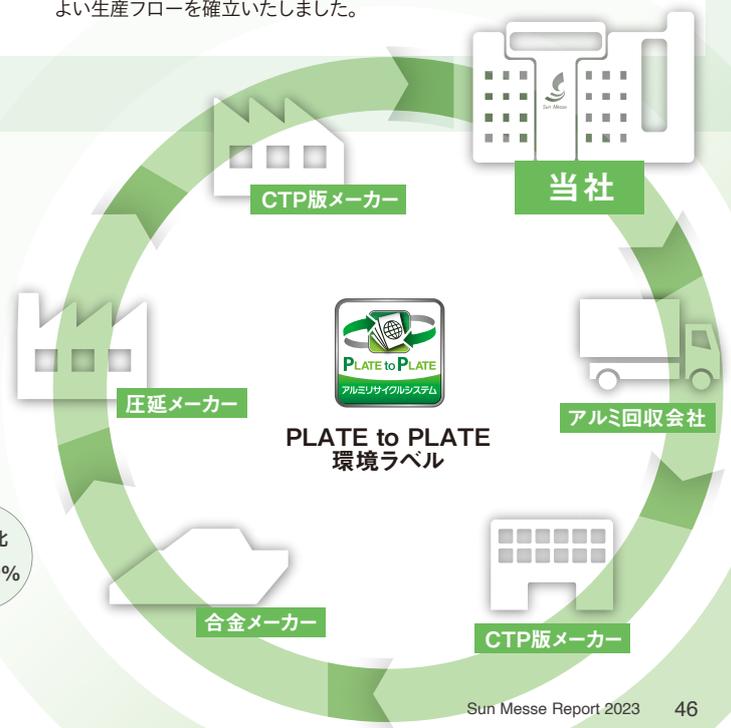
804t-CO₂e

昨年比 135%

印刷用刷版のリサイクルシステム採用

97,955 kg

昨年比 135%



サンメッセの カーボンニュートラル戦略

2050

TCFDへの対応

ガバナンス

サンメッセは気候変動への対応を重要な経営課題と位置づけています。2021年には「サステナビリティ委員会」を創設し、事業戦略と結びつけた社会課題の解決と、ネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを開始しています。「ISO実行委員会」と省エネを中心に環境保全の役割を担う「省エネ部会」による環境推進体制で、年2回行われるマネジメントレビューを通じて、サステナビリティ全般の方針や目標、その進捗や目標達成状況について社長に報告され、改善や是正の検討を行っています。

戦略

2022年6月に「カーボンニュートラル宣言」を公表。気候変動に伴う移行リスク、物理リスク、機会要因などを分析し、脱炭素社会実現に向け、今後の事業ポートフォリオの転換とともに「移行計画」による戦略的な対応を行ってまいります。複数のシナリオに基づく分析については今年度より検討を始め、その影響や実施すべき施策を決定してまいります。

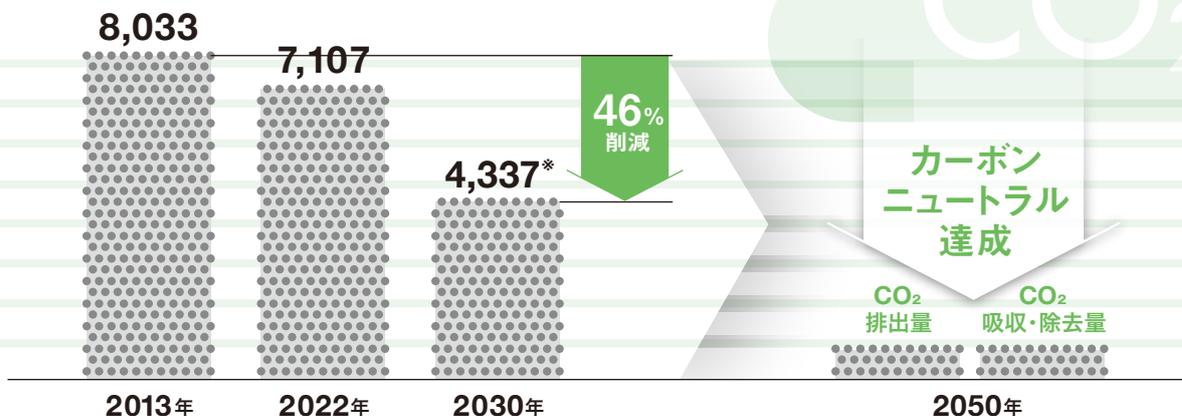
リスク管理

頻発する自然災害に伴う生産拠点・工場への影響や、気候変動によって各種原材料の調達コストが増加するリスクについては物理的に影響を伴うリスクマネジメントの一環として対処してまいります。同時に、今後想定される規制の変化、炭素税の導入や消費者の環境配慮への意識の高まりなど、移行リスクに対しても準備をしております。同時に、FSC®森林認証紙や環境に配慮した印刷手法の採用等により、環境印刷の受注増が期待されるほか、環境コンサルティングに関する事業機会を拓げるビジネスチャンスがあります。

指標及び目標

指標及び目標 気候変動関連目標として、2050年カーボンニュートラルの実現、2030年に2013年度比46%のCO₂排出量削減、そして単年での目標として、「事故・刷り直し報告書のCO₂を対前年度目標比20%削減」や「環境配慮印刷対応製品、サービスの提供件数及び受注件数」を目標化し、その進捗を管理しております。

Scope1+2による温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



※日本政府による、温室効果ガス排出量の削減目標：2030年までに46%削減(2013年比)に準ずる

※当社は、2022年度「カーボンニュートラル宣言2050」を公開しました。このScope1+2の排出量削減目標算出にあたっては2013年のCO₂排出量を基準値としています。これまで、2013年度排出量算出の係数として実排出係数を利用していましたが、今後、調整後排出係数を利用することとし、基準値を10,278tから8,033tに修正いたします。これにともない、2030年度のCO₂排出目標値は、5,550tから4,337tとなります。

Webinar開催

トライアル1tキャンペーンを実施

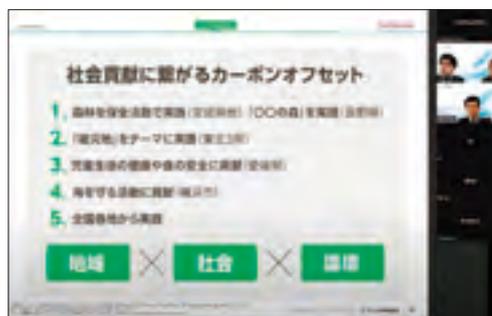
2022年11月、コロナ禍のためウェビナーでの開催となったサンメッセ情報技術展。当社の最新コミュニケーション事例を紹介する毎年恒例のプライベートショーにおいて、この1st stageで『印刷とサステナビリティの「共創」』をテーマに、印刷が貢献するSDGsやカーボンニュートラルの具体例についてご提案しています。

また、2022年のプライベートショーをキックオフにして、お客さまのGHG排出量を削減するカーボン・オフセットやグリーン電力などを販促展開。カーボン・オフセットのトライアル1tキャンペーンと題して、1tあたりのキャンペーン価格を設定するほか取扱手数料を無料にするなど、お客さまにカーボン・オフセットを手軽にご利用いただけるようにしています。

当社では、地球環境の保全が叫ばれるようになった2000年代から環境印刷を独自に体系化しており、用紙やインキから印刷や製本まであらゆる印刷工程で環境負荷の低減に取り組んできました。今後も、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、印刷にとどまらないコミュニケーションとサステナビリティの「共創」を、お客さまやサプライチェーンに働きかけていきます。



カーボン・オフセットをわかりやすくまとめた「トライアル1tキャンペーン」のリーフレット



サンメッセ情報技術展2022では、「印刷とサステナビリティの共創」をプレゼン

トライアル1tキャンペーンのリーフレットを作って、お客さまにカーボン・オフセットをご案内しています。カーボン・オフセットの仕組みがよくわかったと、お客さまにも大変喜んでいただいています。GHG排出量を削減するコミュニケーションへの関心も高まっており、カーボンニュートラルへ向けた販促キャンペーンの第2弾、第3弾も実施していきたいと思えます。

岡本 雄磨さん

東京営業部 部長



お客さまのGHG排出量削減への貢献

FSC®森林認証紙や非木材紙といった、環境機能型の用紙をはじめ、グリーン電力の採用、印刷時に発生するCO₂排出量のオフセット支援など、お客さまの印刷物における環境負荷を低減する支援活動を行っています。これにより自社だけで環境活動を推進するより、より広範囲で大規模な環境支援が実現できると考えています。

2022年度の成果



カーボン・オフセット
取り扱い量

50t

昨年比
45%

EcoVadis社のサステナビリティ評価で「シルバー」取得

2023年1月、当社はEcoVadis(エコバディス)社のサステナビリティ評価で、全体の上位25%に該当する「シルバー」を取得、中でも「環境」で優れた評価をいただきました。EcoVadis社は世界175カ国、200業種、10万社以上の企業や団体を評価するプラットフォームで、環境、労働と人権、倫理、持続可能な資材調達4分野で包括的にサステナビリティを評価しています。